



【連続公開セミナー@立教大学】

岩波文庫から刊行中の吉川一義氏による

新訳で プルーストを 読破する

6

第6回「ゲルマンのほう II」

2018年8月25日 (土) 14:30-16:30

立教大学池袋キャンパス 本館1202教室

講師 **阿部 公彦** 氏 (東京大学教授)

司会 **坂本 浩也** (立教大学教授)

主催 立教大学文学部文学科フランス文学専修

問合せ先 学部事務1課 (03-3985-3392)

proust.rikkyo@gmail.com

Twitter [@proust_rikkyo](https://twitter.com/proust_rikkyo)

申込不要・入場無料、定員105名 (先着順)。

テキスト (プルースト作・吉川一義訳『失われた時を求めて』第6巻「ゲルマンのほう II」岩波文庫、2013年) を通読して、ご持参ください。

失われた時を求めて

6 ゲルマンのほう II

プルースト作

吉川一義訳





プールの投球術

公開セミナー「新訳でプールの投球術を読破する」第6回 講師紹介

阿部 公彦 (あべ・まさひこ) 氏

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授。

専門は20世紀初頭の英米モダニズム期の詩・現代詩だが、シェイクスピアから現代日本文学にいたる幅広い対象を扱う。『文学を〈凝視〉する』(岩波書店、2012年、サントリー学芸賞)など、著書多数。

紀伊國屋書店「書評空間」で吉川訳の第1巻を書評(2012/6/19)。ここで、その一部をご紹介します。

全文「プールの投球術」はウェブで読めます。

<https://www.kinokuniya.co.jp/c/20130327105638.html>

「プールの投球術は誤解されやすい作家だ。〔…〕とりわけ気をつけたいのは、プールの投球術が実は「短い」ということである。

プールの投球術の得意技は一種の「むっつりギャグ」である。この人はとにかくじっと待っている。くたくたく見えるのは、実はこの「待ちの間」にほかならない。長い長いセットポジションだと思えばいい。そして待ちながら、意地悪く観察しているのである。〔…〕牽制なのか投球なのか、脱線なのか本筋なのか、その境い目にむずむずするような緊張感がある。〔…〕



有名なマドレーヌの箇所にしてもそうだが、言葉はいちいち論理的で緻密。ときには数頁にもわたる〔…〕比喩のひとつめぐりに最後まできっちり付き合ってみると、もやもやした頭の奥にぼこっと穴があいて光が差しこみ、爽快な「知」の瞬間がもたらされる。『失われた時を求めて』はこの小さな瞬間の集積なのである。決してフル装備で一気に登らなければならないような、難攻不落の高山などではない。ひとつひとつの瞬間と出会うようにして、エッセイ集をめくるようにして、ゆっくり時間をかけて読めばいい。本質的には「短い」作品なのだ。〔…〕

問題となるのは、日常性といかに付き合うか、ということなのだ。日常の奥に潜むものを引っ張り出し、精妙な言葉の力で突っいたり裏返したりしながら、その味わいを引き出す。そこには、もはや「つまらない日常」などと軽んじることのできないような、まぶしいとも真っ暗ともつかない思いがけない奥深さがあらわれている。〔…〕

それにしても、これほど自分の内面に執拗にこだわりの作品は珍しい。にもかかわらず、こちらをナルシズムでうんざりさせたりしない。おそらくそれは「私」を語れば語るほど、言葉が研ぎ澄まされてドライになっていくからだろう。自己語りは決して甘い耽溺調に陥るのではなく、切なさや甘さを仄めかしつつも、あくまでしなやかにまた軽快に、「まさかそうくるとは！」と言いたくなるような爽快なジャンプを生む。〔…〕

全14回のゲストとスケジュール (予定*)

毎回ゲスト講師をお招きしますが、プールの投球術の専門家にとどまらないのが、この企画の特色です。学術的な知見を紹介するだけでなく、ゲスト個人の思い入れのある場面や登場人物をとりあげて、「誤読」や「妄想」的な解釈をおそれずに、プールの投球術の読みどころを語っていただきます。

- | | | | |
|---|---------|-------------|------------|
| ① | 吉川一義氏 | (京都大学名誉教授) | 2017/10/21 |
| ② | 工藤庸子氏 | (東京大学名誉教授) | 2017/12/9 |
| ③ | 石橋正孝氏 | (立教大学助教) | 2018/2/17 |
| ④ | 湯沢英彦氏 | (明治学院大学教授) | 2018/4/28 |
| ⑤ | 根本美作子氏 | (明治大学教授) | 2018/6/23 |
| ⑥ | 阿部公彦氏 | (東京大学教授) | 2018/8/25 |
| ⑦ | 高橋方子氏 | (作家) | 2018/10/6 |
| ⑧ | 野崎歓氏 | (東京大学教授) | 2018/12/1 |
| ⑨ | 青山七恵氏 | (作家) | 2019/1/12 |
| ⑩ | 小黒昌文氏 | (駒澤大学准教授) | 2019/3/2 |
| ⑪ | 青柳いづみこ氏 | (ピアニスト、文筆家) | 2019/4 |
| ⑫ | 中野知律氏 | (一橋大学教授) | 2019/6 |
| ⑬ | 柴崎友香氏 | (作家) | 2019/8 |
| ⑭ | 吉川一義氏 | (京都大学名誉教授) | 2019/10 |

* 諸事情により変更する場合があります。時間・教室とあわせ、Twitterや立教大学HPでご確認ください。

(司会：坂本浩也)

本研究は、JSPS 科研費 JP 18K00490 の助成を受けています。